

2025年10月1日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行株式会社

日本のグロース企業を投資対象とするエクイティ・ファンド設立について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）、株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 三菱UFJ銀行）および三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 ^{くぼた ひろし} 窪田 博、以下 三菱UFJ信託銀行）は、日本のミッド・レイターステージのスタートアップ（以下、グロース企業）を主な投資対象とするエクイティ・ファンド（以下、本ファンド）を設立することを決定しました。

1. 背景

日本の持続的な経済成長には、スタートアップの創出と発展が不可欠であり、成長ステージに応じて、多様で充実した資金供給が行われる必要があります。米国を始めとするグローバル市場では、グロース企業へのエクイティ投資を魅力的なアセットクラスと捉えてリターンを追求する運用主体により、十分な成長資金・リスクマネーが供給されています。ユニコーンが創出される要因の一つともなっています。また、投資家への良好なリターンの還元が、更なる投資を生む、成長と分配の好循環が実現しています。

一方、日本では、ベンチャーキャピタル（以下、VC）に加え、事業シナジーを目的とした事業会社・コーポレートVCが、シード・アーリー期を中心に投資を行っていますが、大規模な資金調達が必要となるグロース企業に対し、安定的に投資を行う主体は限られています。結果として、スタートアップが十分に成長せず、企業の新陳代謝が生まれにくい状況が続いています。

2. 取り組みの概要

このような中、MUFGは本ファンドを設立し、日本のグロース企業へのエクイティ投資を拡大します。外部から招聘する投資責任者（Chief Investment Officer）を中心に投資チームを組成し、三菱UFJ銀行および三菱UFJ信託銀行の市場部門からのLP出資による事業開始を予定しております。その上で、国内外の投資家のお客さまからもLP出資をいただくことを検討しており、合わせて、総額500億円規模のファンド組成・運営をめざします。

「つなぎ、はぐくみ、とどける。」MUFGは、日本のグロース企業と国内外の投資家をつなぎ、グループの総合力を活用したバリューアップを通じて投資先や市場の成長をはぐくみ、魅力的なリターンを投資家のお客さまにとどけます。本取り組みにより、市場を通じた企業への成長資金・リスクマネー供給の強化、および「資産運用立国」実現に貢献してまいります。

【本ファンドの概要】

名称	Japan Growth Equity Fund（仮称）
形態	投資事業有限責任組合
設立予定日	2025年度中（ファイナルクローズは2026年度を予定）
ファンド規模	総額500億円規模を想定
GP（無限責任組合員）	三菱UFJ銀行が新設する子会社
LP（有限責任組合員）	国内外投資家（三菱UFJ銀行および三菱UFJ信託銀行を含む）
主な対象企業	日本のグロース企業（ミッド・レイターステージのスタートアップ）

以上